

(諏訪地域)

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	優しい音色が人と自然をつなぐプロジェクト		
事業主体 (連絡先)	NPO法人 やすらぎの音楽協会		
事業区分	1) 地域協同の推進にかかわる事業 6) ア特色ある観光地づくり		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	1,002,584	円	(うち支援金 748,000 円)

事業内容

1. 春のやままつり・新緑の行峠で樹・音を吹こう
岡谷湊地区の「行峠の松」で森のオカリナ樹音という楽器をつくり、音楽で地域の人たちがいきいきと活動することのサポート。地域住民・自治体と協力してお祭りを開催する。
2. 秋森・原村村内の森を使ったイベント、ワークショップの開催。森の中にあるスペースを利用して、自然の中で音楽・自然を身近に感じてもらう。
3. 本活動認知向上のための広報活動
首都圏や大都市の自然の少ない地域に生活する方々を誘致し、各イベントへ参加してもらうことで地域のファンを作る。



銀座NAGANOにて 27.10.4

【目標・ねらい】

- ① 自然に親しむとともに環境保護を考えるきっかけを作る。
- ② 自然や音楽を通して、人と人が出会う場を作っていく。
- ③ 音楽を通して元気な街づくりをサポートする。
- ④ 世代・業種を超えた地元のつながりの中で、私たちの住む八ヶ岳の麓の魅力をアピール。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 春のやままつりは雨のため、公民館に変更。地域住民他50名参加。秋は、山の事業とコラボさせる形で地域が開催。行峠の松で樹音を吹くサークルも立ち上がり、地域と音楽が一体となり活動を始めている。
2. 秋森は、やすらぎの音楽協会の地元となる。5年目の今回は、自然文化園を使い開催。地元の人たちに協力してもらい、ワークショップの種類を吟味。文化園に遊びに来られた一般の家族連れやチラシを見てきてくださった方々も含め、150人~200人が参加。
3. 銀座NAGANOでの広報活動には、原村の魅力を伝えること、その村の中で模索しながら新しい仕事を生み出している若者にスポットを当てる企画。「原中卒業生こんなお仕事しています」を2回のシリーズ企画に。1回目は20人程度の参加者であったが、若者に移住相談するすがたもあった。2回目は、高原野菜と音楽とイタリア料理を組み合わせ。80人参加していただいた。

※自己評価【A】

【理由】

NPO設立後8期。ずーと取り組んできた企画を、元気づくり支援金をいただくことで再度見直し、進化させることができた。新会員や協力者も巻き込んでの活動になったので、成果もアップ。